

Z-277

ESD対策コーティング剤



4962772092774

樹脂製品を静電気対策エリア(EPA)で使用可能にするコーティング剤です。表面に静電気拡散性の塗膜を形成します。

仕様

容量	100g (91mL)
塗布面積	4m ²
点間抵抗*	$1 \times 10^6 \leq R_p < 1 \times 10^9 \Omega$
抗菌性能*	増殖を99%以上抑制 (黄色ブドウ球菌、大腸菌)

※塗膜の状態(コーティング剤が乾燥して固まった状態)の仕様

注意文の警告マークについて

ご使用上の注意事項を次のように区別しています。

△警告 …死亡、重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

△注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**△注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

△注意

- 塗膜は電気を通します。通電箇所や導通によって支障が出る箇所には塗布しないでください。
- コーティング剤は希釈せず、そのままお使いください。効果が得られなくなります。
- 直射日光を避け、6℃以上40℃未満で保管してください。コーティング剤が変質するおそれがあります。
- SDS(安全データシート)をよくお読みになり、正しくお使いください。
- コーティング剤と容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、廃棄を依頼してください。
- 塗膜は、汚れや経年劣化によって本来の効果が発揮されなくなることがあります。コーティング剤を塗布した対象物は、静電気対策の規格で推奨される頻度での点検をお勧めします。

SDS(安全データシート)について

当社Webサイトに閲覧、ダウンロードが可能です。
<https://www.hozan.co.jp/corp/g/g9277/>

ご使用上の注意

△警告

- コーティング剤の蒸気や、作業時に使う洗浄剤の蒸気が滞留しないよう、換気にご注意ください。蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息してください。
- コーティング剤が皮膚に付着しないよう、保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は、石鹸と多量の水で洗い落してください。
- 開栓時や作業時に、コーティング剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は、水で数分間洗います。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外し、洗浄を続けてください。
- コーティング剤を飲み込んだ場合は、口内を水ですすぎ、水を大量に飲みます。その後、直ちに医師の診察を受けてください。被災者の意識がない場合は、口から何も与えないでください。
- 蒸気を吸入したり、皮膚や眼に入った場合の症状(気分の悪さ、皮膚や目の刺激)が改善しない場合は、医師の診察、手当てを受けてください。
- 火災の場合は、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火剤を使用してください。

ご使用方法

塗膜が定着するもの

樹脂: ABS、PET、PVC(硬質)、アクリル、ポリカーボネート

塗膜が定着しないもの

樹脂: PP、PVC(軟質)、PE、フッ素樹脂、ゴム、発泡体(発泡PP、ウレタンフォーム等)
 樹脂以外: 布、紙、ガラス、木、金属など

用意するもの

- ・保護手袋(ニトリル手袋、ビニール手袋など)
- ・洗浄剤(Z-294 オーバーホールクリーナー、エタノール、IPAなど)
- ・ウエス
- ・刷毛
- ・家庭用ドライヤー、ヒートガンなど

準備

作業時は保護手袋を着用してください。対象物に、塗膜剤が定着しない材質の部品が取り付けられている場合は、機能的に支障がなければ、帯電を防ぐために取り外します。取り外せない部品は、コーティング剤を塗布する前に、部品を覆うように別売 F-110-7 導電性テープを貼り付けます。

ご使用方法

手順

1 対象物を洗浄する

対象物に付着している油脂や汚れなどは、塗膜が剥がれる原因となります。洗浄剤を染み込ませたウエスで全体をふき、油脂や汚れなどを除去します。

△注意

1. 対象物を侵さない洗浄剤を使用してください。ご使用の前に目立たないところで試し拭きし、異常がないことを確認してください。
2. 対象物の底面など、接地経路になる個所も忘れずに洗浄してください。

2 容器をよく振って混ぜ、対象物に塗布する

容器の底の沈殿物が見えなくなるまで容器をよく振って混ぜてください。刷毛にコーティング剤を含ませ、対象物の全体にむらなく塗布します。コーティング剤の量は、A4サイズの面積に対して、500円硬貨大程度が目安です。

F-110-7併用の場合

帯電を防ぐため、F-110-7の上にもコーティング剤を塗り重ねてください。

ご使用方法

△注意

1. 対象物の底面など、接地経路になる個所に塗布されていない場合、対象物が帯電するおそれがあります。
2. コーティング剤の混ざりが不十分、塗布にむらがある、量が少ない場合、塗膜が仕様を満たさなくなるおそれがあります。
3. 刷毛は固まりやすいので、すぐに洗ってください。刷毛に付いたコーティング剤を、ウエスでふき取った後に水道水で洗います。

3 コーティング剤を乾燥させる

対象物に、ドライヤーなどで温風（50℃未満）を1〜2分当てます。コーティング剤が指につかなくなったことを確認し、乾燥を終了します。

△注意

対象物とドライヤーなどの吹き出し口との間隔を十分に確保してください。50℃以上の温風をあてると、塗膜にひび割れが生じるため、剥がれやすくなります。

4 常に対象物の接地経路を確保する

設置する対象物は、グラウンドに接続された作業台や床などに置きます。手に持つ対象物は、リストストラップなどを装着して使用してください。

ご使用方法

△注意

接地経路を確保していない対象物は、浮いた導体となるため、帯電するようになり、電子部品などを破壊する原因となります。

お手入れの方法

塗膜に汚れやホコリなどが付いた場合

水で濡らしてかたく絞ったウエスなどで、軽くふき取ってください。

△注意

洗浄剤は使用しないでください。塗膜が溶けて、剥がれにつながるおそれがあります。

塗膜が剥がれた場合

剥がれた個所は帯電します。補修塗りはできませんので、ヘラで塗膜を剥がし、残った塗膜を洗浄剤を付けたウエスで取り除いた後に、再度塗布し直してください。

関連製品

Z-294
オーバーホール
クリーナー



F-110-7
導電性テープ



F-109
表面抵抗計



対象物が該当する静電気対策の規格について

ホーザンの静電気対策品は、国際規格（IEC61340-5-1）を基にした国内の団体規格（RCJS-5-1*）を参考に管理しております。

本製品が該当する規格値はありませんが、本製品を塗布した対象物は、静電気対策品になり、下表の規格に該当するようになります。

表:ESD保護アイテムに対する要求事項(RCJS-5-1から抜粋)
【アイテム個別の要求事項】

	点間抵抗 Rp(Ω)	EPAグラウンド抵抗、またはグラウンド可能接続点への抵抗 Rg(Ω)
作業表面、保管棚、 トrolley及びカート	$1 \times 10^4 \leq R_p \leq 1 \times 10^{10}$ 注1	$7.5 \times 10^5 \leq R_g \leq 1 \times 10^9$ 注1
工具		$R_g < 1 \times 10^{12}$ 注2

注1：ESDコーディエータが承認した場合には、規定された下限抵抗値以下の抵抗は許容される。

注2：ESDSを保護するための最小抵抗値というのではない。しかし安全性確保のために、最小抵抗値が必要な場合がある。関連の国内基準、IEC61010-1、IEC60479、IEC60536、IEC60364を参照。

※一般財団法人 日本電子部品信頼性センター（RCJ）が公表している規格。『静電気現象からの電子デバイスの保護 一般要求事項（RCJS-5-1）』

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。

<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日（祝日を除く）の10:30〜12:00、13:00〜17:00】